

令和 5年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：創業支援担当
 内線：3773

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P15	渋沢栄一創業プロジェクト推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	新事業創出支援事業費			
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	なし			針路分野施策	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	4, 8, 9		
							1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsターゲット	4-4, 8-2, 8-3, 9-5		
1 事業概要				5 事業説明							
起業や新事業の創出による県内経済活性化のため、起業家や企業等が交流し、イノベーションの創出を行う「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」の機能等を検討するための調査や運営事業者の選定に向けた準備を行う。また、サロンの活用を促すためのセミナーや起業家教育の大学間ネットワークの構築を行う。 ア イノベーション創出の場調査検討及び運営企画提案競技の実施 7,641千円 イ イノベーション創出の場活用促進事業 3,780千円 ウ アントレプレナーシップ教育の推進 503千円				(1) 事業内容 ア イノベーション創出の場調査検討及び運営企画提案競技の実施 7,641千円 ・「渋沢栄一起業家サロン(仮称)」の機能等を検討するための調査や運営事業者の選定準備を行う。 ・設置方針の策定に向けた有識者会議を開催する。 イ イノベーション創出の場活用促進事業 3,780千円 ・県内企業等へ施設開設後の活用を促すため、オープンイノベーション等の普及啓発を目的としたセミナーを実施する。 ウ アントレプレナーシップ教育の推進 503千円 ・大学生や高校生に対するアントレプレナーシップ教育の推進を図るため、大学間ネットワークの構築や高校生を対象とした実践的な講座を実施する。 (2) 事業計画 ・令和4年度 ・設置方針の策定に向けた有識者会議の実施 ・令和5年度 ・機能等の調査検討や運営事業者の選定準備 ・県内企業等へ施設開設後の活用を促すためのオープンイノベーションの普及啓発やアントレプレナーシップ教育の推進、 (3) 事業効果 ・様々な企業・団体等が交流し、連携・協業へとつなげることで、新事業の創出や企業・地域が持つ課題の解決を図り、県内経済を活性化する。 ・若者へのアントレプレナーシップ教育を推進することで、将来のイノベーションを担う人材の創出や起業家の増加を図る。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・県内企業・スタートアップ、支援機関、金融機関、大学、県内自治体、国等と連携してオープンイノベーションを創出、促進する。							
2 事業主体及び負担区分											
県10/10											
3 地方財政措置の状況											
なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員											
9,500千円×2人=19,000千円											
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比	
		国庫支出金									
決定額	11,924							11,924	9,827		
前年額	2,097	2,097						0			

事業内訳書

事業名	渋沢栄一創業プロジェクト推進事業		
単位事業名	イノベーション創出の場調査検討及び運営企画提案競技の実施	予算額	7,641千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	1,000	1,000	有識者会議委員謝金（10人×1回分）、運営業務委託業者選定に係る委員謝金（5人×2回分）
旅費	90	90	先行施設等視察旅費
需用費	3	3	食糧費
委託料	6,500	6,500	調査・分析等業務委託
使用料及び賃借料	48	48	会場使用料（有識者会議1回分、委託先選定委員会1回分）
合計	7,641	7,641	

単位事業名	イノベーション創出の場活用促進事業	予算額	3,780千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	3,570	3,570	イベント企画・運営業務委託

単位事業名	イノベーション創出の場活用促進事業	予算額	3,780千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	210	210	会場使用料（イベント開催9回分）
合計	3,780	3,780	

単位事業名	アントレプレナーシップ教育の推進	予算額	503千円
-------	------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	200	200	ネットワーク会議講師謝金（2人×2回分）
旅費	240	240	先進大学等の視察旅費
使用料及び賃借料	63	63	会場使用料（ネットワーク会議2回分）
合計	503	503	